

令和3年度 学習分析事業 改善計画 三原市立西小学校

1. 本年度の結果

①学力定着分析 NRT 偏差値平均

		2年	3年	4年	5年	6年	全体
国語	目標値 偏差値平均	/	/	/	/	/	/
	結果 偏差値平均	57.7	55.4	53.8	58.7	56.7	56.5
算数	目標値 偏差値平均	/	/	/	/	/	/
	結果 偏差値平均	57.5	53.8	54.8	55.5	56.8	55.5
理科	目標値 偏差値平均	/	/	/	/	/	/
	結果 偏差値平均	/	/	47.4	54	54.6	52.2
全体	目標値 偏差値平均	/	/	/	/	/	/
	結果 偏差値平均	57.6	54.5	52	56.1	56	55.2

③全国学力・学習状況調査 正答率平均

教科	国語	算数
目標値 (対標比)	/	/
結果 (対標比)	103	98.6

2. 調査から明らかになった課題

<p>【年度当初の学力について】(NRTをうけて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国語科では、大事なことを聞き取る(65.7%)考えや感想をまとめ合う(55%)に課題があった。また学年別配当漢字に課題があった。 ●算数科では、かさの直接比較(49%)や、単量あたりの速さ(43%)などに課題があった。また、イメージをもって答えを出すことに課題があった。 ●理科では、物の形と重さ(63.5%)、光の進み方(59.6%)などに課題があった。 	<p>【年度当初の学力について】(全国学力・学習状況調査をうけて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国語科では、読むこと(49.3%)書くこと(61.7%)で課題が見られた。構成の工夫点を見付けたり、文章の要点を読み取り、要約してまとめたものを書くことに課題がある。 ●算数科では、面積(61.8%)データの整理(61%)割合(46%)に課題が見られた。情報を表に整理したり、大問題を基にして小問題のかかわりを見抜きながら解いていくことに課題があった。
---	--

3. 課題解決に向けた学校組織全体の重点目標・取組

(※毎月のブロック訪問や授業研で参観させていただきます。また、重点取組は、第2回の指導力向上研修において事例として別紙にまとめ紹介させていただきます。)

重点目標 (何を、どの程度達成するか)	達成のための具体的取組 (どのようにして)	スケジュール	検証の指標・目標
<p>【授業改善を通した学力・学習意欲の向上】</p> <p>○全学級が「振り返り」に取り組み、自分の考えをまとめて書く力を向上させる。</p> <p>○「話す・聞く」ルールを提示し、相手に伝わりやすい話し方をさせたり、自分の考えと比較させたりして大事なことは何なのかを意識して聞かせたりする。</p> <p>○視覚支援や算数的な活動を通して、イメージをわかせることで理解力を深める。</p>	<p>①全職員とのNRTの誤答分析による実態把握と改善計画の立案</p> <p>②研究部による重点目標の焦点化</p> <p>③全体研修による目指す授業の共有</p> <p>④全国学力・学習状況調査の誤答分析による実態把握・改善案</p>	<p>①6月</p> <p>②6月</p> <p>③6月・7月</p> <p>④8月</p>	<p>・Q-U2回目の学習意欲の数値(全学級で全国得点+0.5)</p> <p>・各学期まとめテスト平均値(全学級80%)</p>
<p>【学級・学習集団づくり】</p> <p>○全学級において、学習ルールを決め、徹底できるようにする。</p> <p>○誉め言葉のシャワーをクラスで仕組み、自己肯定感を高める。</p> <p>○教科担任制を取り入れ、複数の教師の視点で児童のよさをや変化を見つけるようにする。</p>	<p>①クラスで目標を決め、達成できた時には、シートに評価をためていく。視覚化することで、クラスで統一して頑張ろうとする意欲をもたせる。</p> <p>②児童の様子(具体的にどのようなかかわりを求めているのか)を複数の教員で共有し、教員からしっかりとかわっていく。</p>	<p>①6月</p> <p>②6月</p>	<p>・Q-U2回目の一次支援の数値向上(全学級で全国以上)</p>